

月が水星、土星に接近

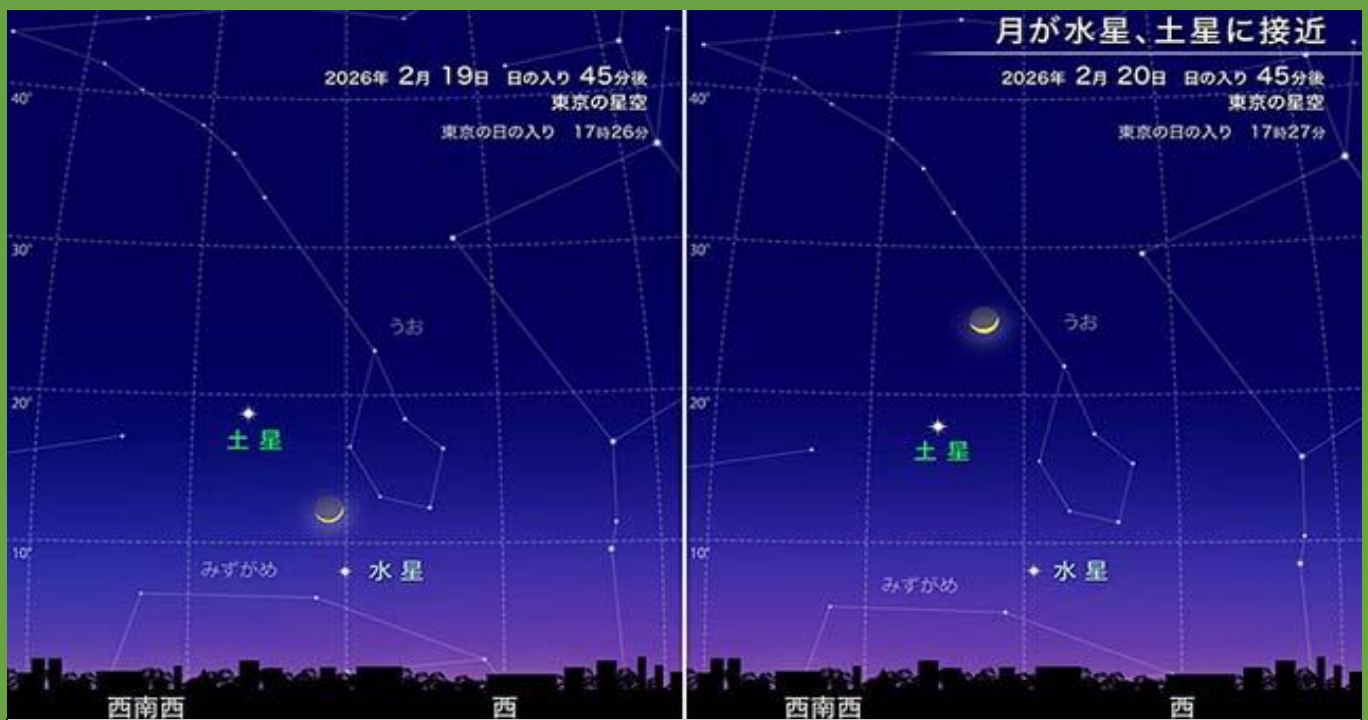


天空が広がる一覧三山の台(久住山系、祖母山系、阿蘇山系の山々を一望できる)であるうぶやまの高原には、積雪があり大変寒いのですが、晴れていれば肉眼で見える限界の6等星や天の川まで見える素晴らしいうぶやまの星空を楽しみませんか。

指針コラム(天体観・見どころ)

2月のうぶやま天文台の星空情報の第1弾は、2月19日～20日の日の入後に細い月が水星(−0.5等級)と土星(1.1等級)が接近して見える天文現象です。太陽に近く見えづらい水星ですが、月下旬のこの頃は、ちょうど夕方の西の空で見頃を迎えています。2月19日には、水星の上に月齢2のいわゆる三日月が見られます。細いので見やすくはないですが、夕焼け時に見つけられれば、水星を探すための目印になります。また、水星のより高い位置(やや南寄り(左))には、土星が見られます。しかし、翌日には月が土星より高い位置に移動します。月と土星の位置関係が変わる様子も、合わせて楽しんでください。

観察対象



細い月と水星、土星の接近